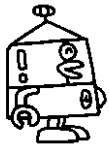


小 / 理科 / 5年 / 生物と環境 /
魚の卵の成長 / 理解シート

メダカとキンギョは、同じ水そうで飼ってもいいの^か



大きな水そうに、小型のキンギョで、数が少なければ、
いっしょに飼ってもだいじょうぶだよ。

大きさがちがうと、えさだと思って食べてしまうから注意が必要

メダカもキンギョも、自分の体よりかなり小さいものは、えさとして食べてしまいます。自分の産んだたまごやふ化した子魚でも、同じ水そうにあれば食べてしまいます。だから、何年か飼って体長が 10cm もあるようなキンギョといっしょにすると、メダカは食われてしまいます。

メダカのおびれ、せびれなどに、キンギョがかみついてできるきずが多く見られるようなら、同じ水そうで飼うのはやめましょう。

水温や食べ物は、メダカとキンギョでは少しちがっている

メダカは水の表面近くを泳いでいて、小さなこん虫や、ミジンコなどの小動物を主食としています。いちばん元気がいい水温は、20 前後です。

メダカより体が大きいキンギョは、イトミミズ、アカムシなどの小動物を食べ、23~25 ぐらいの水温がすきですが、0~35 ぐらいまでの水温で生きていけます。だから、もしいっしょに飼うなら、メダカに合った水温にしてやりましょう。

えさは、メダカ用や小型のキンギョ用の飼料^{しりょう}をあてえます。水につけて塩気をぬき、小さく切ったしらすぼしや、パンくず、ペットショップで売っているイトミミズやアカムシなども、あてえてやりましょう。

池やどぶなどでとってきたイトミミズやアカムシは、病気の原因^{げんいん}になることがあるので、あてえないようにしましょう。

口が小さいメダカには、えさも小さくしてやらなきゃ食べにくいね。

